

いのちを守る 防災コース

受講料
無料

OSAKA防災 タイムアタック!

第1回

6月16日(土) 14:00~16:00

「災害時に生きのびるために」

現代社会学部 社会防災学科 前林 清和 教授



近い将来必ず起きると言われている南海トラフ巨大地震。大阪府の被害は、最大で死者13万人以上に上ると想定されています。しかし、この数を限りなく0に近づけることは可能です。そのためには、自助が不可欠です。「OSAKA防災タイムアタック!」を使って一緒に学びましょう。

第2回

6月23日(土) 14:00~16:00

「よりよい避難所運営を考える」

現代社会学部 社会防災学科 前林 清和 教授

HUG
(避難所運営ゲーム)



避難所の運営は、自治体職員や施設職員ではなく、住民(避難者)が主体となります。「避難所運営ゲーム(HUG)」を使って、避難所運営や避難生活にどんな難しさがあるか、自分たちに何ができるか、普段からどのような備えをしておいたらよいかなどを考えてみましょう。

第3回

6月30日(土) 14:00~16:00

水害ジオラマ

「都市域を自然災害から守るために ~水害の発生メカニズム~」

現代社会学部 社会防災学科 中山 学 准教授



近年、集中豪雨により、都市域では短時間で溢水(いっすい)氾濫などが引き起こされ、痛ましい事故も発生しています。今回の講座では、まず豪雨により頻発する都市水害の特徴を概観します。

次に、市内を流れる河川が溢れ、堤防が決壊による外水氾濫や市街地に降った雨を十分排水できずに起こる内水氾濫による「都市水害」に対してどのような対策が可能であるか「ジオラマ」を用いて考えます。

第4回

7月7日(土) 14:00~16:00

参加型ワーク

「地域防災力の向上に向けて」

現代社会学部 社会防災学科 伊藤 亜都子 教授



防災には、地域での協力や助け合いが不可欠ですが、災害時に地域が力を発揮するためには、普段からの取組や備えが重要となります。講座後半には参加型のワークも体験しながら、自分の地域でできることについて考えます。

第5回

7月21日(土) 14:00~16:00

防災女子と考える

「災害を自分こととして考えるために」

現代社会学部 社会防災学科 前林 清和 教授



現代社会学部 社会防災学科の女子学生が中心となり結成された「防災女子」。女子力で災害を乗り切るをコンセプトに、やってみたくなる防災の啓発活動に取り組んでいます。防災女子のメンバーと共に、いつ起こるかわからない災害に対して、自分こととして考えるきっかけを茶話会形式で考えてみませんか?

●申込方法：電話・はがき・FAX・来館・インターネット

電話・はがき・FAXでのお申し込みは、講座名・名前・電話番号をお知らせください。

インターネットは「いちようネット」(<https://www.manabi.city.osaka.lg.jp>)にアクセスし、キーワード欄に「いのちを守る防災コース」と入力・検索のうえ、お申し込みください。

●申し込み・問い合わせ

大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500(大阪駅前第2ビル5・6階)

TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019

<http://www.osakademanabu.com/umeda/>

開館時間：午前9時30分～午後9時30分(日・祝は午後5時まで)

休館日：毎月第1・3月曜日



●個人情報の取り扱いについて

■ご記入いただきました個人情報は、講座ご参加の確認や、講座に関するご連絡のためにのみ使用いたします。お申込みいただいたことをもって、同意されたものとみなします。■事業者：大阪市
■ご記入いただきました個人情報は、講座の開催・運営に必要な範囲(上記利用目的の範囲)において、個人情報全部または一部を預託・共同利用する場合があります。共同利用者の範囲：大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体(指定管理者) 事業体構成団体：①一般財団法人大阪教育文化振興財団 ②サントリーパブリシティサービス株式会社
■個人情報の取扱い、苦情及びご相談に関するお問い合わせ先：個人情報保護管理者代理人 一般財団法人大阪教育文化振興財団 総務課長 宛 Tel:06-4963-2527(月～金10:00～17:00)